

厚真町こども園つみき
園だより

12月号
令和6年11月29日
園長 井鳥 佳織



《保育理念》

「生きていく力を育む」

《保育目標》

- ・ 僕らの暮らし 「その人らしさ」「食」「自然との関わり」を大切にします。
- ・ 僕らの思い 「おもいやり」「楽しい」を大切にします。
- ・ 僕らの挑戦 「一人ひとりのやりたい、やってみたい」「試行錯誤」を大切にします。

『やってみよう会』のご観覧 ありがとうございました

『やってみよう会』のコンセプトは、【おうちの人に見てもらう日】でした。子どもたちの『見てもらいたい』は、みなさんの目や心にはどのように映ったのでしょうか？私の目や心には『いつものその子らしさ、ありのままの姿』が、遊びを通して多くの子たちに見られたのを嬉しく感じておりました。

『やってみよう会』は、子どもたちにとっては遊びですので日常とほぼ変わりありません(自分たちが考えたことややりたいことを実現させるために取り組んでいる)。ただ当日の『見てもらうワクワク・ドキドキの種類』はいつもと違った心持ちだったことでしょう。保育者達にとっては『子どもの主体性を大切にしながら取り組み、やりたいことをどのように限られた時間と決まった場所で分かりやすく伝えるのか(表現する)コーディネートする』という専門性が問われるハードルの高い取り組みでした。保育者は子どもと話し合い、それを実現していくために子どもと一緒に試行錯誤しながら共に色々なことを学び合っているように私には見えていました。逆に『保育者が考えたことを、子どもに覚えさせ、発表させる』ことは単純で簡単です。そこに子どもの主体性はほとんどなく大人の『〇〇やるから頑張ろう』『カッコいい！』『上手』『おうちの人を楽しみにしているよ』等の嫌がらないようにやらせる、決まりきったことを何度も行い仕上がり重視の言葉かけが多くなり、子ども達は『大人の言うとおりに頑張る→褒めてもらう』という思考で頑張るという根性論の関係性になりがちです。褒められるのは嬉しいものですが、そこにつみきが大切にしている【保育目標】がほとんどありません。

*保育目標：右上参照

つみきの暮らし・取り組み・行事は必ず【保育理念・保育目標】を基に成り立っております。

『やってみよう会』の振り返りを機に、この場をかりて改めてお伝えさせていただきます。

『やってみよう会』当日に上映しました、子ども達の取り組み過程の動画は、QRコード配布いたします。12月2日(月)からご覧になれます。



あれ？
お笑い系の雪だるまに
変化しているではありませんか！笑
福笑い遊びに進化？



エルマーたちが、
いつでもみんなを見守っていますね。

お部屋に、ハマナ
スクラブが開店しました。まだまだ
遊びは継続中。



↑After
『やってみよう会』

子どもたちにとって
は、日常の遊び

1号認定園児のお迎えの場所が変わります

12月2日(月)から1号認定の子ども達の降園方法が下記のように変わりますので、ご協力お願いいたします。

- 1, 正面玄関から園内に入り、玄関ホールで待機しているお子さんを迎えに来てください。
- 2, お子さんを連れ、玄関を出る前に登降園カードの読み取り操作をして、降園してください。

12月の予定

- 2日(月) 安全点検日
- 4日(土) 内科検診 9:00スタート
- 5日(木) 三菱マテリアル様、ツリー搬入
- 18日(水) 収穫祭【きりん組】
- 19日(木) 避難訓練(不審者侵入)
- 24日(火) クリスマス会
- 30日(月) 年末休業～1/4日(土)